

<アイデア>

公民的分野「C(2)ア(ア)」(民主政治と政治参加)

政治と選挙についての知識を活用して、日本の選挙の課題について、立場を明らかにして討論する「マイ・ジャッジメント活動」を用いるアイデア

【本時のめあて】

選挙で投票しない人に罰則を与える是非についての話し合いを通し、政治参加の意義について考えましょう。

生徒Aの記入例

<ファイナル・ジャッジメント> ※箱の中に○をつけ、その理由を書こう。

賛成					反対				
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
※理由									
・政治に無関心な人が増えると、将来が不安だという意見に共感した。									

<自分はどうするか(例)>

この話し合いを通して、投票するということは、政治に参加することだと再認識できた。自分が投票できる年齢になったら、候補者や政党の情報を調べ、納得のいく選択をしたいと思った。

※本アイデアは、令和2年度総合教育センター研修員C先生の実践を基に、再構成したものです。

本単元に関する学習指導要領の内容 公民的分野「C(2)ア(ア)」(民主政治と政治参加)

C 私たちと政治

(2) 民主政治と政治参加

対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解すること。

イ 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することに向けて，次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現すること。

＜本アイデアのポイント＞

- ・ 自由度の高い学級討議と、強い興味を引き出すディベートの要素を折衷した討論「マイ・ジャッジメント活動」によって、政治参加への意識を高めることをねらっています。

自らの立場を明らかにして討論することで、身近に感じるのが難しい社会での出来事や課題を自分事として捉えることが期待できます。



【展開例】

- ①二つの資料から、若い世代の選挙離れが進むと、どのような問題が起こる可能性があるかを考える。
- ②本時のめあてと学習問題（話合いのテーマ）を確認する。
- ③ファースト・ジャッジメントとその理由を記入する。
- ④賛成か反対の立場を明らかにして、意見交流をする。
- ⑤ファイナル・ジャッジメントとその理由を記入する。
- ⑥話合いを基に、「自分はどうか」を記入する。

展開① 二つの資料から、若い世代の選挙離れが進むと、どのような問題が起こる可能性があるかを考える。

準備物○図「衆議院議員選挙の年齢階層別投票者数の比較」
○表「投票に際して考慮した問題」

図 衆議院選挙の年齢階層別投票者数の比較

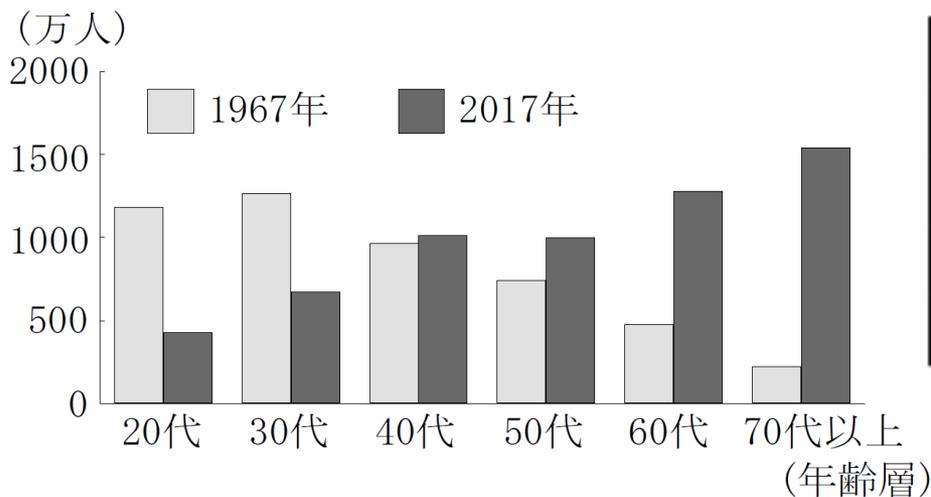


表 投票に際して考慮した問題

	1位	2位
10～20代	景気対策	子育て・教育
30～40代	景気対策	子育て・教育
50～60代	医療・介護	年金
70代以上	医療・介護	年金

(公益財団法人明い選挙推進協会「第48回来議院議員総選挙全国意識調査」から作成)

※二つの資料から分かること (例)

このまま若い世代の選挙離れが進むと、景気対策や子育て・教育などへの政策が遅れてしまう可能性がある。

展開② 本時のめあてと、学習問題を確認する。



世界には、投票が義務制の国もあります。投票しないと罰金が課される国もあります。



【※平成27年5月前期のレートを基に計算】

投票が義務制の国

「東京都選挙管理委員会資料」より

【本時のめあて】

選挙で投票しない人に罰則を与えることの是非についての話し合いを通して、政治参加の意義について考えましょう。

【学習問題】（話し合いのテーマ）

選挙で投票しない人に、罰則を与えることに賛成か、反対か。

展開③ ファースト・ジャッジメントとその理由を記入する。

生徒Aの記入例

思いの強さに応じて、箱の場所を選ぶ。

<ファースト・ジャッジメント> ※箱の中に○をつけ、その理由を書こう。

賛成				反対			
					○		
※理由							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 投票しないのはよくないが、罰則を与えるのはやり過ぎだと思う。 							

展開④ 賛成か反対の立場を明らかにして、意見交流をする。

賛成側のポイント	反対側のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 懲役刑や罰金を取る国もある。 ・ 一部の人たちだけで政治が行われたら、平等な政治は行われなくなる。 ・ 関心を向けさせることができなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国がそこまでやるのは、やり過ぎ。 ・ 人権侵害になるのではないか。 ・ 罰則があるから、仕方なく投票しても政治はよくなる。

展開⑤ ファイナル・ジャッジメントとその理由を記入する。

生徒Aの記入例

<ファイナル・ジャッジメント> ※箱の中に○をつけ，その理由を書こう。

賛成				反対			
	○						

※理由

・政治に無関心な人が増えると，将来が不安だという意見に共感した。

展開⑥ 話し合いを基に，「自分はどうするか」を記入する。

<自分はどうするか（例）>

この話し合いを通して，投票するということは，政治に参加することだと再認識できた。自分が投票できる年齢になったら，候補者や政党の情報を調べ，納得のいく選択をしたいと思った。

受講者の感想

- ・自分の考えをもつよい授業，教材だと思った。社会参画の意識を育てるために，選挙の学習は大変大事だと思うので生徒が興味をもてる資料を用意できればと思う。
- ・ジャッジメントが賛成，反対ともに4分割になっていて，分かりやすい。○を付けてから記入するという流れが繰り返してなっていて，取り組みやすいと思う。
- ・自分ならどうするのかと，身近な問題について主体的に考えていけると思う。ただ，そのために必要な資料を選び，提示していかなければいけないと感じた。
- ・最後に自分はどうかを忘れないようにしたい。読み取り，整理するだけでなく，さらにもう1歩高めることが大事。